

# 地震火災に備えましょう

地震等の二次災害として恐ろしいのが火災です。わが家から火を出さないために、普段から「火の用心」を心がけましょう。

## 消火器

消火器は必ず備えましょう。一般住宅の火災を対象にした小型軽量、取り扱いが簡単な住宅用消火器もあります。取り出しやすい場所に設置し、家族全員で使い方を覚えておきましょう。使用期限や破損の有無などを定期的に確認しましょう。



### ●消火器の使い方を覚えておく



## 感震ブレーカー

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める装置です。設置工事の有無や費用の違いによってタイプがあり、住まいの環境に適したものを選ぶことができます。

### ●簡易タイプ

ブレーカーに直接取り付け、ばねの作動や重りの落下によってブレーカーを落とす。



### ●コンセントタイプ

コンセントに差し込むタイプと、既存のコンセントと交換して埋め込むタイプがある。



### ●分電盤タイプ

地震を感知して電気を遮断する機能がついた分電盤。内蔵型のほか、後付け型もある。



## 住宅用火災警報器

煙や熱から火災をいち早く感知して知らせます。電池切れに注意しましょう。



### 火災原因をつくらないことを習慣にする！

- 調理器具や暖房器具の近くに燃えやすいものを置かない
- コンセントに差したプラグにほこりをためない
- たこ足配線はしない
- コードの上に重いものを載せない
- ストープの近くで洗濯物を干さない など

# 自助、共助が重要なワケ



## 発災直後は、自助、共助が力を発揮します！

大規模災害では公助の機能が著しく制限されます。被害が広域かつ同時に多発して行政機関の対応能力を一時的に超えてしまうことがあるからです。すべての被災者のニーズに公助が行き届くには時間がかかります。

そのようなとき、力を発揮するのが自助、共助です。発災時、私たちは自分と家族の身を守り、地域の人たちと協力して地域の安全を確保しなければなりません。普段から自助、共助に地道に取り組むことで、いざというときの被害拡大を防ぎましょう。



### 防災士資格取得費用助成制度

市と自主防災組織等が協働して防災力向上を図るため、地域防災の担い手となる防災士の資格を取得しようとする方に対し、助成金を交付します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<https://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/anzen/bousai/1047989.html>



## 災害時協力井戸及び受水槽

災害時における飲料水及び生活雑用水の確保を図るため、市内に井戸及び受水槽を所有する方の協力の下に、これらの井戸及び受水槽を登録していただき、災害時に地域住民の方に供給していただくものです。

井戸及び受水槽の登録方法や登録井戸及び受水槽の一覧、マップは下記のホームページをご覧ください。

<https://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/anzen/bousai/ido/1000310.html>

